

High School-3/11 Project-Manga, Ch. 1, Pt. 2 The earthquake occurs

- Pg. 15 P.1 ■ 平成二十三年三月十一日
午後二時四十六分
- P.2: ■ 午前中の険悪な雰囲気のままその時を迎えた。。。。
- P.3: ● 父：あっ！地震だ！
Ono. ガタ ガタ ガタ
- P.4: ● アッコ！おいで！
Ono. タ タ タ
- P.5: ● 父： よしよし
Ono. ガタ ガタ
- P.6: Ono. ガタッ ガタッ
● 父：おっ？ こりゃちょっとでかいぞ。。。。
● 父： 5、、、6、、、
- P.7: Ono. ガッ
● 父：えっ。。。？ ちよっ。。。。
- Pg. 16, P.1: ■ マグニチュード9.0震度7の大地震が発生した
- Pg. 17, P.1: ■ 体内の震度計は一瞬で「未知」を指した
Ono. ガッシャン
● 父：マジかよ！？
- P.2: ● 父：おお～！こりゃデカイなあ。。。！
● 父：はあ。。。あははは！
Ono. ガッシャン ガッシャン
■ ムスメを落ち着かせるため 必死に平静を装った

P.3: ■ ムスメは状況を飲み込めず キョトンとしていたが。。。

Ono. ガッシャン

● 父：大丈夫 大丈夫！ふう 山は越えたな。。。はあ

P.4: ● 父：本震（コレ）が行ったら 火の元確認して 避難する
準備をしないと。。。 はあ。。。

Ono. ガッシャン

● 父： え！？

■ まさかの事態が

Pg.18, P.1: ■ もう一段階 大きな揺れが襲ってきた

● 父：うそッ だろ。。。ッ！

Ono. ガッシャ ガッシャ

P.2: ■ 電気がダウン

Ono. ドバーン！

■ 目の前にあった本棚が恐るべき威力で倒れ
ムスメのお気に入りのオモチャを粉砕した

Pg.19, P.1: ■ さすがに僕も言葉を失い

● 父：はあ

Ono. ガッシャ バキヤ！ ガッシャ！

● 父：ふう。。。！

P.2.: ● ム：うわあああああ。。。！

Ono. ガシャーン！

■ ムスメは恐怖を 見つけ出し 泣き始めた

P.3: ■ まるで 巨人に箱の中に閉じ込められ かき回されているか
のような

● 父：大丈夫 大丈夫！はあ はあ
ぜ～んぜん平気だって！ふう

Ono. ガシャンーン ガシャ！ ガシャ！

● 父：はあ もうすぐ終わっかな！

■ 成す術（すべ）のない無力感をムスメに声をかけることで
耐えていた

Pg.20, P. 1 : ■ さらにもうひと山来た時には恐怖を乗り越し
やや 辟易（へきえき） しつつ

● 父：はあ

● 父：ふう もうすぐだよ～！ これ終わらないんじゃないかねえ
の。。。

Ono. ガッシャ ガッシャ

P.2: ■ 初めて地震で 「死」を意識した

Ono: みし みし

Ono: ガッシャ ガッシャ

● このアパート倒壊したら死ぬかも。。。

● はあ大丈夫だよ～♪

P.3: ■ 最初の地震は三連続の巨大な揺れを叩きつけ

Picture: 震度6くらい

P.4: ■ 去って行った

Ono. パキ、、、

Ono. カラン、、、

ふう おさまった。。。ふう ふ～、、、

終わり